



第18回上田八木・金融政策サーベイ(2018年3月)

発表日：2018年3月7日（水）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年3月2～6日
調査先	197先
回答率	89.3%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（3月8日～3月9日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	+0
不変	99	98	+1
引締	0	1	▲1
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	0	▲1

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	92	92	0
上昇	7	7	0
短期金利予想DI	+6	+6	0

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	86	80	+6
上昇	12	19	▲7
2年国債金利予想DI	+10	+18	▲8

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	79	76	+3
上昇	19	23	▲4
10年国債金利予想DI	+17	+22	▲5

質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
1. 1年未満	6%	13%	▲7%
2. 1年以上3年未満	71%	65%	+6%
3. 3年以上	23%	22%	+1%